

平成29年度岡山市保健所運営委員会概要

日時：平成29年8月31日（木）14:00～16:00

場所：岡山市保健福祉会館9階 機能回復訓練室

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 会長の選任
- 4 会長あいさつ
- 5 議事

保健所運営の実績及び方針について〔諮問〕

(ア) 保健衛生年報及び運営委員会資料を中心として保健所事業全般に関する質疑応答

【事務局説明】

《付帯意見》

- 新学期（始業式の日）の子どもの自殺に対する有効な予防対策（手立て）を検討してほしい。
- 高齢者がペットを飼うことにより、介護予防や健康寿命の延伸が期待できる。地域での飼育支援の整備が課題。
- マダニ対策としての猫の室内飼いをさらに推奨してほしい。
- 商業施設での健康相談事業に各団体が協力することで、よりよい市民啓発ができるのではないか。
- 各団体からの協力や市民へのPRにより、引き続きがん検診の受診率向上に取り組んでほしい。
- 生活支援体制整備事業に、健康市民おかやま21でのネットワーク等を活用し、多職種・他団体との連携による地域包括ケアを進めてほしい。

(イ) 岡山市保健所の母子保健事業の動向と中期的方向性について

【事務局説明】

母子保健活動方針は、「親も子どもも安心して健やかに育ちあえる」を基本理念とし、国の健やか親子21（第2次）をもとに、「安心して妊娠・出産・育児ができる」「健やかな発育・発達ができる」「思春期の健康づくりができる」「地域で安心して子どもを産み育てることができる」という4本の柱を母子保健活動の主要な柱として、各世代を切れ目なく支援することとしている。地域の中でつながりを持ち、健康で、安心して子育てができるよう切れ目のない支援をしていきたい。

安心して妊娠・出産・育児ができる

- ・妊娠早期からの切れ目のない支援を強化。
- ・専門職のいる窓口への妊娠届出を推奨。
- ・産前産後ステーションで助産師が相談受付。
- ・産科医療機関と連携支援体制をつくり、支援の必要な妊産婦に対して支援を開始。
- ・家庭での安定した養育が可能なよう養育支援訪問事業を行っている。

健やかな発育・発達ができる

- ・支援が必要な親子を早期発見し、適切な支援につなげていく。
- ・幼児健診未受診者へ受診勧奨の取組、健診未受診者の状況把握、経過観察児教室の紹介、専門医療機関への受診とその後の療育へつなげる。
- ・フッ素洗口を実施している学校・園の増加を目標に実施校拡大を図っている。

思春期の健康づくりができる

- ・自分自身を大切にし、相手のことを思いやって大切にできる心を持つことを目指す。
- ・中学3年生を対象に「いのちを育む授業」を実施。
- ・専用電話での思春期電話相談を行っている。

地域で安心して子どもを産み育てることができる

- ・地域で日常的に人とつながり、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを目指す。
- ・こんにちは赤ちゃん事業（生後 4 か月までの全戸訪問）として愛育委員が地域の子育て情報、地域社会につながる機会を提供。
- ・ゼロ歳からの食育推進事業として栄養改善協議会が公民館等で離乳食講習会を実施。
- ・おやこクラブでは子どもたちの健やかな心と体を育てるためゼロ歳児から就園前までのお子さんのいる保護者同士が地域で仲間づくりをすすめている。
- ・ともに育むネットワークでは子育て支援の一つとして障害者とその親の会への支援を行っている。

《付帯意見》

- 子どもの貧困対策として、地域での子供の居場所づくりに取り組んでいるが、行政、団体、地域が情報交換を通じて、一緒になって子どもたちを守っていく必要がある。
- 思春期において、命の重みを感じ自分自身や周囲の人を大切にする気持ちを育むことが重要。今後も「いのちを育む授業」に力を入れて欲しい。
- 健やかな発育や鬱・不眠症の改善、自殺予防の観点から、食育・食生活の改善は大切である。
- スマートフォンの普及により、親が子守りに利用したり、子どもからの様々なサインを見逃す状況が生じている。子育ての中でのスマホの接し方（利用方法）など現実的な視点も必要である。

議長とりまとめ〔答申〕

議長：保健所運営の実績及び方針についての原案を承認する。

6 閉会